

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	下水道河川課担当課長 加藤 隆志
都整－25 水洗化普及促進等事業(特別会計)	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 下水道河川課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川
	施策の方針	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	水洗化の普及促進を図るため。
効果	水洗化率の向上を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

- ・下水道供用開始対象者へ下水道接続のための普及・啓発を行った。
- ・水洗化改造家屋に対する助成を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	人 口	177,243人		176,869人	
世 帯 数	80,368世帯		80,676世帯		世 帯 数	80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	173,008人		172,638人		事業の対象者数	172,638人	
運 営 資 源 状 況	決算値(千円)	10,950	13,656		当初予算(千円)	29,695	
	国県支出金				国県支出金		
	地方債				地方債		
	その他	10,574	12,775		その他	29,325	
	一般財源	376	881		一般財源	370	
	人員配置数	4.6	4.4		人員配置数	4.4	
事 業 費 運 営	人 件 費(千円)	35,289	34,241		人 件 費(千円)	34,545	
	総事業費(千円)	46,239	47,897		総事業費(千円)	64,240	
	市民1人当りの経費(円)	261	270		市民1人当りの経費(円)	363	
	対象者1人当りの経費(円)	267	277		対象者1人当りの経費(円)	372	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない		
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある		
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
			△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直し	事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市の公共下水道整備実績に連携した予算規模の確保が必要となる。	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	公共下水道接続の有効性・必要性等について啓発や指導を行い、接続促進や接続後の維持管理の啓発を行う。			

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	公共下水道に接続できる状況にある未接続の案件(未水洗化家屋等)を解消する。接続後の適切な維持管理の啓発を行う。		
課題解決のために行った平成27年度の実績	上下水道料金管理システムデータ等の複数の情報を使って得られた未水洗化家屋等データを活用し、接続促進や維持管理の啓発や指導を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	未水洗化家屋等を解消する。 接続後の適切な維持管理の啓発を継続する。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	下水道水洗化率(平成26年度決算)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	葉山町	逗子市	大和市	
他市実績	目標100%	目標100%	目標100%	目標100%	目標100%	目標100%	目標100%	目標100%	
	93.0%	98.0%	97.7%	96.9%	92.9%	88.3%	99.4%	99.5%	
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市町を比較(政令指定都市の横浜市・横須賀市、また事業年度の浅い三浦市を除く)。特に逗子市・大和市は下水処理方法が単独処理であることで類似。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	下水道水洗化率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
公共下水道事業が適切に運用されるには、市が下水道施設を整備し、市民等がその施設を利用して事業が完遂するため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
	実績値	93.0	93.2							
	達成率	93.0%	93.2%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	公共下水道接続の有効性・必要性等について、接続促進や適切な維持管理の啓発や指導を継続しているものの、接続率は伸び悩んでいる。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--